※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和７年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図の読図、図表や統計の読み取りも取り入れながら授業を進めます。日常生活のあらゆる場面で地図や図表、統計に慣れ親しむようにしましょう。
・世界の諸事象の空間的な規則性、傾向性について地図や地理情報システムを用いながら効果的に調べまとめる技能を身につけていきます。
・常に地図帳を傍らに置き、世界のニュースなどで接する地名や事象について関心をもち、調べるように心がけましょう。

2　学習の到達目標

(1)世界の諸事象の空間的な規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色を把握するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
(2)系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に諸事象を考察したり、考察したことを説明したりすることができるようになる。
(3)世界の諸事象について、よりよい社会の実現にむけて、そこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の諸事象の空間的な規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色を把握するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に諸事象を考察したり、考察したことを説明したりしている。	世界の諸事象について、よりよい社会の実現にむけて、そこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図や地理情報システムとその活用	大地形、小地形 地形図 地理情報システム 自然環境と防災	a:現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 b:地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:地図や地理情報システムと現代世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ
	都市と村落	都市と村落 都市･居住問題	a:都市・村落などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 b:都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:都市・村落について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ
2学期		項目ごとに整理して考察 （中国、EU諸国など）	a:いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

	現代世界の諸地域	歴史的背景と関連づけて考察 （ラテンアメリカ、アフリカなど） 地域を比較して考察 （オセアニアなど世界各地）	b:現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			
3学期				提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査	提出ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査	振り返りｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度